

令和5年度 第一回豊洲市場に係る都区連絡調整協議会について

1 開催日 令和5年6月9日（金）

2 主な協議内容

- ・都区間の協議事項のうち、土壌汚染対策及び千客万来施設事業等について都側から現状説明後、質疑。
- ・千客万来施設事業に関しては、令和5年9月の竣工に向けた工程に従い、本体施設の工事は順調に進めているが、施設とぐるり公園とを結ぶ連絡橋については、地中支障物の影響により現在工事を中断しているとの報告があった。このほか、テナントリーシングの交渉状況、5街区の将来活用に向けた調査の結果等について報告があった。

(1) 土壌汚染対策について

区側	都側
<ul style="list-style-type: none"> ・今年で豊洲市場が開場して5年を迎える。この間の土壌汚染対策の取組と、現在の市場の安全性に関する都の認識を伺う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで地下水管理システムによる地下水の揚水により、地下水位の低下及び地下水質の改善を図るとともに、空気や地下水質の測定を継続し、結果を公表してきた。 ・毎月実施している空気調査の結果は、大気環境基準等に適合しており、豊洲市場は安全に運営されている。

(2) 千客万来施設事業等について

区側	都側
<ul style="list-style-type: none"> ・テナントリーシングにおいては、小さい店舗を数多く出店させる前提との認識であったが、複数区画を使用する大きな店舗が入るのであれば、出店数が当初予定より少なくなるということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者においては、引き続き市場ならではの賑わいの実現を第一に交渉を続けている。一方で、安定的なテナント経営を続ける観点から、複数区画を使用した営業を希望するテナントも多くあると聞いている。そのため、当初想定していたテナント数よりも少ない店舗配置となることが想定される。

区側	都側
<ul style="list-style-type: none"> ・ 5街区用地の将来活用についての調査について、「現時点で恒久的な施設をつくり、運営していくことは大きなリスク」とあるが、暫定的な活用のアイデアはあるのか。 ・ 江戸前場下町の営業終了後、その跡地が空き地になるような状況がないよう、来年度の予算措置も含め、精力的に検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暫定的な活用のアイデアは持っていないが、5街区用地が賑わい創出に向けた大事な千客万来施設事業用地であることは十分認識している。今回の調査結果も踏まえつつ、引き続き段階的に検討していく。